

第123号

# 酪農とちぎ



- 1 ページ 表紙
  - 2 ページ 令和4年乳代集計結果について
  - 3～4 ページ 東西南北（各支所）
  - 5～8 ページ 部課だより（業務部）
  - 9 ページ 部課だより（生乳受託課）
  - 10 ページ 名誉農業士認定者紹介、理事会だより、お知らせ、市場成績
  - 折込 酪農とちぎ機構図
  - 折込 はせがわごうき 長谷川豪輝氏
- 「全農学生『酪農の夢』コンクール」最優秀賞受賞

「キャラクター<sup>えみ</sup>笑味ちゃん」



みんなのよい食プロジェクト

# 令和4年乳代集計結果について

1月から12月の乳代集計結果についてお知らせします。

## 生乳生産実績

令和4年の年間乳量は25万8611tで、2年連続で25万t超えとなり前年より3%増の実績となりました(表1)。1月の日量はおよそ700tと前年より54tも多く、その勢いで令和4年がス

表1 年間乳量と出荷戸数

	年間乳量(t)	12月出荷戸数(戸)	1戸当り乳量(t/戸)
平成14年	213,002	738	289
平成15年	210,263	722	291
平成16年	213,341	705	303
平成17年	210,244	681	309
平成18年	220,457	653	338
平成19年	217,429	621	350
平成20年	216,870	593	366
平成21年	217,355	570	381
平成22年	206,590	546	378
平成23年	200,643	529	379
平成24年	210,197	521	403
平成25年	214,584	491	437
平成26年	221,612	476	466
平成27年	234,508	461	509
平成28年	237,879	441	539
平成29年	236,444	423	559
平成30年	231,863	409	567
令和元年	232,481	389	598
令和2年	235,882	372	634
令和3年	250,815	353	711
令和4年	258,611	331	781

スタートしました。しかしながら11月で昨年とクロスし下回りました。例年8月から日量は上昇傾向にありますが、令和4年は9月から12月までほぼ横ばいで推移しています(図1)。飼料高騰の中で低能力牛の淘汰や、購入飼料を控え自給飼料を増やしてコストを抑えている影響、更には離農が原因として考えられます。

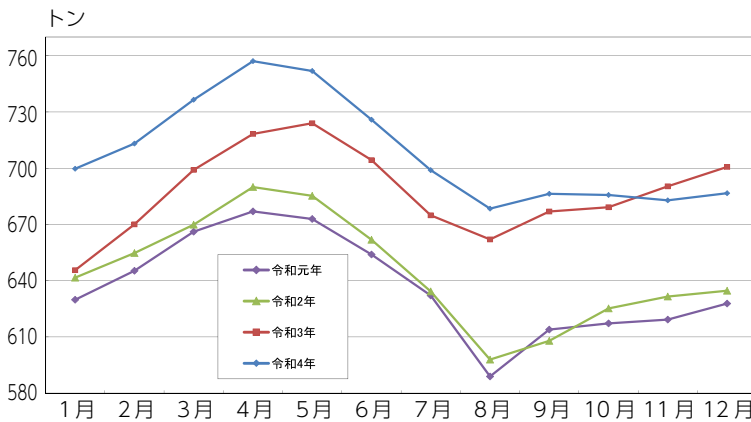


図1 日量の推移

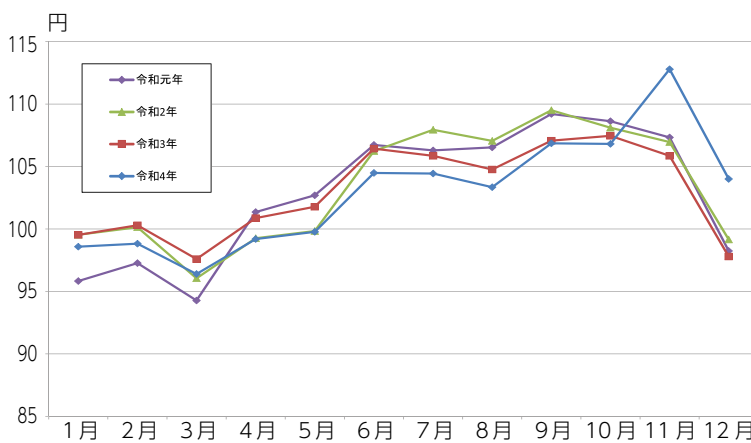


図2 支払乳価(手数料等控除後、乳質加算前)

## 乳価

支払乳価(図2)について、令和3年4月より組合の手数料を0.1円/kg下げ、令和4年4月より更に0.1円/kg下げました。が、拠出金等の増がありました。11月出荷分より飲用・発酵乳向けで10円/kgの値上げとなりましたが、加工率などの影響もあり7円弱の値上げに留まっています。乳代追加払い(事業分量配当、需要期出荷奨励金、需要期優良奨励金、乳代精算払い、集送乳

業務委託費精算払い、経営安定対策助成金、乳価安定特別対策金)におきましては、昨年より3億円超の増額で総額7億4505万円をお支払いしました。これは目的積立金を原資に乳価安定特別対策金として5月分乳量に対し10円/kgをお支払いしたことなどで増えています。乳代追加払いを年間乳量で除すると前年は1.77円/kgお戻ししましたが、令和4年は2.88円/kgとなりました。出資配当は0.5%となり前年より7.13万円減でした。尚、配合飼料補填金は前年より5千万円増の1億2730万円、その他の収入は国、県から飼料高騰の緊急対策支援もあり5億7200千円増の10億8678万円となりました。



# 東西南北

## 那須高原支所

牛乳消費拡大に向け

「毎日一杯 牛乳を飲もう!!」

看板設置

飲用需要が低迷している中、少しでも消費拡大につなげたいという地域の意見も踏まえ、1月20日、那須高原支所・CS敷地内の国道4号交差点付近に看板を設置しました。



那須高原支所・CS敷地内設置の消費拡大看板

国道4号線沿いという立地を生かし、道を行き交うドライバーや歩行者等多くの方々が目にして、家庭や職場での飲用機会の創出につながることを期待したいと思えます。

## 宇都宮支所

女性会新年懇親会を実施

(宇河今市支部・那須南支部)

女性会宇河今市支部(廣田純子支部長)では令和5年1月27日に7名参加のもと日光市イル・プラトにて、また、女性会那須南支部(興野礼子支部長)では令和5年1月31日に8名参加のもと那須烏山市クローバーステーキハウスにてそれぞれ新年懇親会を実施いたしました。

コロナの影響により新年会は3年ぶりの開催となりました。研修会等の行事が制限されている中で久しぶりの支部活動ということで皆さんも再会に喜び合い、情報交換等大いに盛り上がりました。短い時間ではありましたが、お

いしいお料理と楽しいおしゃべりで支部員同士の交流を深められ、リフレッシュできた一日となりました。



那須南支部女性会の皆さん



宇河今市支部女性会の皆さん

後の活力となりました。今後もコロナ禍ではありますが少しずつ行事等を再開し、支部員の親睦を深め、意識向上を図る活動を行ってまいります。

宇都宮市酪農組合通常総会開催

令和5年2月10日、宇都宮市酪農組合(駒場久組合長)の総会が、宇都宮市栃木県青年会館(コンセーレ)において、盛大に開催されました。

近年コロナ禍の影響により書面決議での総会を余儀なくされておりましたが、3年ぶりの対面での開催となりました。

駒場組合長は冒頭の挨拶において、「過去に酪農は何度も危機を迎え、それを乗り越えてきた歴史があります。しかし今回の危機は過去に類を見ないような大きな危機となっている。県や宇都宮市、酪農とちぎをはじめとした関係者の皆様と力を合わせて、この難局を乗り越えていきましょう。」と述べ組合員及び関係者の協力をお願いされておりました。



議事につきましましては、参加組合員の活発な意見交換が交わされ、全議案原案通り可決されました。



宇都宮市酪農組合総会



総会后久々の懇親会

総会終了後は会場を移し懇親会が開催され、久々に顔を合わせ、終始和やかな雰囲気で見聞を深めることが出来ました。

宇都宮市酪農組合では、来るべきウィズコロナの時代を見据えて、感染対策に十分留意した上で次年度の事業を遂行してまいります。

## 県南支所

### 県南支所活動推進協議会

#### 研修会開催

県南支所活動推進協議会（羽石智昭会長）主催による研修会を令和5年2月15日、出席者24名の参加で、栃木県農業大学校と県南支所を会場に開催されました。

最初に栃木県農業大学校で視察研修を行いました。

畜産担当の池田教授に牧場の概要を説明いただきながらの研修となり、施設や牛舎を見学することができました。牛舎は平成30年に完成した畜産教育施設の「ドリーム牛舎」で、酪農及び肉用牛にお

いてICTを活用した先端技術が学べる牛舎となっています。牛舎の構造は、乳用牛と肉用牛を一体的に飼育管理ができる複合型牛舎で、個体感知センサーとカメラ設置により、発情発見と分娩の状況をモニタリングできるようになっており、効率的な繁殖管理を実現できる施設となりました。

昼食後は、会場を県南支所に移しての研修で、「今を生き残る酪農経営について」と題して、全酪連酪農技術アドバイザーの齊藤達夫先生に講演をいただきました。

講演の中で、酪農場の成績に大きな影響をもたらす要素として、カウコンフォートや、良質自給粗飼料生産の重要なことや、飼養管理をする人によって乳牛は良くも悪くもなってしまうこと等を熱い言葉で講演いただきました。

今回の研修会は、昼食は皆さんの長い研修会となりましたが、参加者の経営を見直すとても良い研修会となりました。



栃木県農業大学校池田教授による説明



全酪連酪農技術アドバイザー齊藤達夫氏による講演



# 部課だより

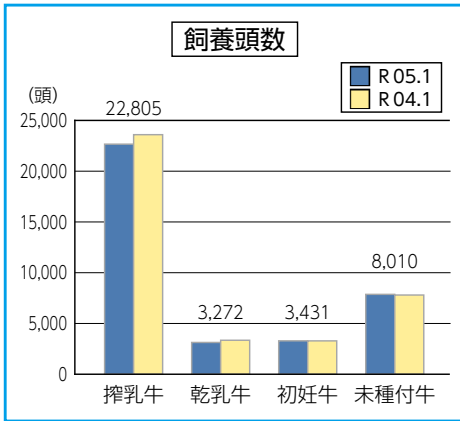
## 業務部

### ● 乳牛飼養動態調査

1月1日現在の乳牛飼養動態調査の結果がまとまりましたので、ご報告します。

#### 1. 出荷者戸数について

前年1月と比較すると酪農中止は22戸（団体及び部分委託者を除く）となり、出荷者数は前年同月比6・3%減の329戸となりました。廃業の理由は、高齢や後継者がいない3戸、経営不振3戸、他業種への転換4戸、病気療養その他12戸でありました。なお、酪

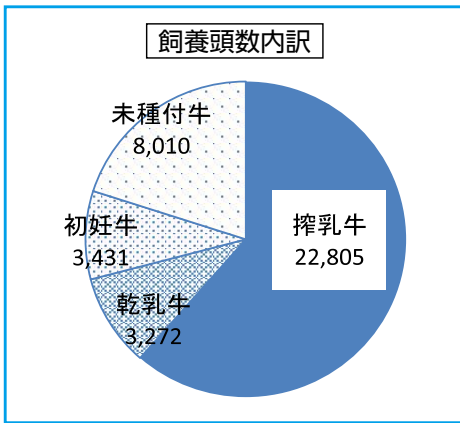


#### 2. 飼養頭数の内訳について

飼養頭数の内訳は、経産牛は前年1月比4・2%減少し2万6077頭、自家育成牛は前年比4・4%増加し8184頭、外部預託牛は前年比7・8%減少し3257頭でした。また、1戸あたりの平均飼養頭数は3・8頭増加し、114頭で前年に引き続き増加しています。

なお、搾乳牛は前年より3・9%減少し2万2805頭、乾乳牛は

農中止22戸の廃業時の合計飼養頭数は585頭でした。一方で、期間中に1戸が出荷を再開したため、酪農家戸数は差し引き21戸の減少となりました。



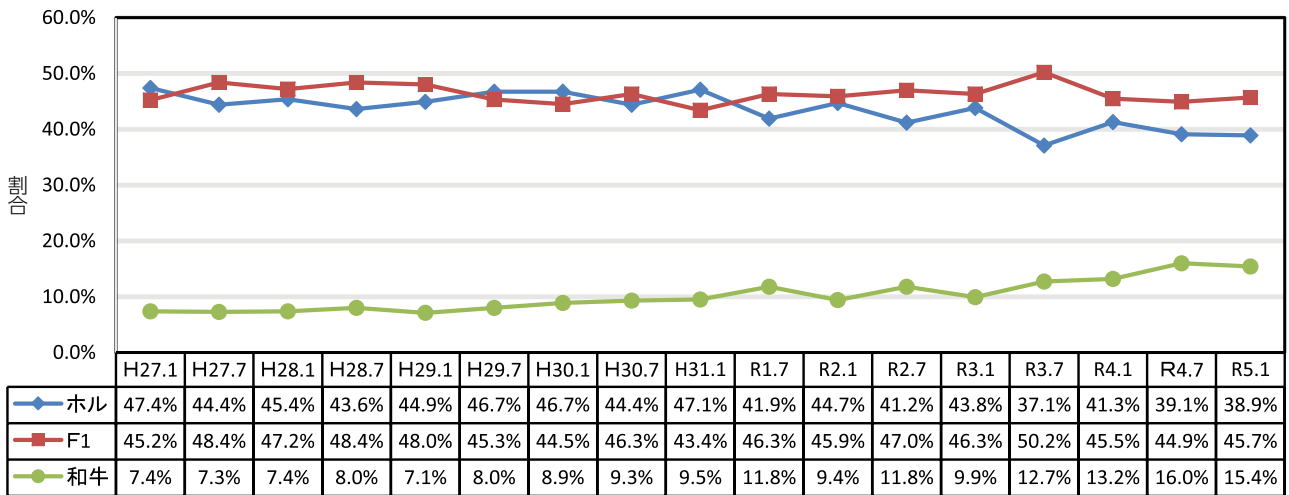
## 令和5年1月度 乳牛飼養動態調査表

(令和5年1月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数								1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛数	月別分娩予定頭数 (カッコ内は内数で判別精液頭数、また下段は令和4年1月の実績頭数)									
			経産牛			自家育成牛		外部預託牛					合計	育成牛保有率(%)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
			搾乳	乾乳	小計	初妊牛	未種付牛	初妊牛	未種付牛	合計												
那須高原支所	R05.1	207	15,668	2,120	17,788	1,660	3,438	652	1,788	25,326	29.76	122.3	1,059	1,427 (167)	1,225 (149)	1,390 (169)	1,071 (101)	1,040 (104)	1,265 (144)	1,547 (149)	8,965 (983)	
	R04.1	219	16,151	2,162	18,313	1,756	3,319	638	1,880	25,906	29.31	118.3	960	1,407	1,340	1,419	1,281	1,105	1,237	1,410	9,199	
	増減	▲12	▲483	▲42	▲525	▲96	119	14	▲92	▲580	0.45	4.1	99	20	▲115	▲29	▲210	▲65	28	137	▲234	
宇都宮支所	R05.1	59	2,528	375	2,903	382	1,062	110	352	4,809	39.63	81.5	60	237 (42)	199 (38)	193 (34)	164 (25)	132 (22)	169 (21)	231 (37)	1,325 (219)	
	R04.1	62	2,764	381	3,145	399	970	126	451	5,091	38.22	82.1	22	267	226	208	157	144	190	186	1,378	
	増減	▲3	▲236	▲6	▲242	▲17	92	▲16	▲99	▲282	1.41	▲0.6	38	▲30	▲27	▲15	7	▲12	▲21	45	▲53	
県南支所	R05.1	63	4,609	777	5,386	527	1,115	100	255	7,383	27.05	117.2	60	446 (27)	393 (18)	425 (21)	296 (17)	279 (16)	431 (23)	506 (17)	2,776 (139)	
	R04.1	69	4,824	946	5,770	374	1,023	135	301	7,603	24.11	110.2	79	502	429	446	368	313	393	467	2,918	
	増減	▲6	▲215	▲169	▲384	153	92	▲35	▲46	▲220	2.94	7.0	▲19	▲56	▲36	▲21	▲72	▲34	38	39	▲142	
合計	R05.1	329	22,805	3,272	26,077	2,569	5,615	862	2,395	37,518	30.49	114.0	1,179	2,110 (236)	1,817 (205)	2,008 (224)	1,531 (143)	1,451 (142)	1,865 (188)	2,284 (203)	13,066 (1341)	
	R04.1	350	23,739	3,489	27,228	2,529	5,312	899	2,632	38,600	29.46	110.3	1,061	2,176	1,995	2,073	1,806	1,562	1,820	2,063	13,495	
	増減	▲21	▲934	▲217	▲1,151	40	303	▲37	▲237	▲1,082	1.03	3.8	118	▲66	▲178	▲65	▲275	▲111	45	221	▲429	



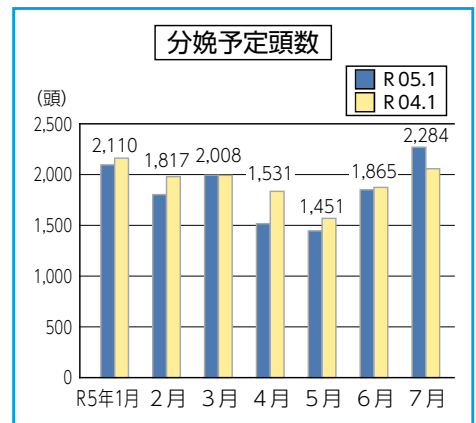
## 調査回別 種付け割合



6・2%減少し3272頭でした。  
 育成牛（自家・外部預託含む）の保有率は、1・03%増加し30・49%で合計1万1441頭となりました。

**3. 分娩頭数について**  
 令和5年7月までの分娩予定頭数は、前年同期分娩実績に比べ429頭減少し1万3066頭となっております。前年同期分と比較し、1〜5月は分娩予定頭数は減少する見込みですが、6〜7月にかけては増加する見込みです。  
 また、その他外部導入が1492頭予定されており、生乳生産量については、5月まで分娩頭数が減少方向で推移しているため、漸減傾向をとると予想されます。またその後6月・7月に分娩が集中するため、泌乳ピークは初夏になると予測され

**4. 授精割合**  
 令和4年7月から12月の品種別分娩実績は、ホル種は前回より8・1%減少し5189頭（分娩実績構成比38・9%。以下同じ。）となり、交雑種は1・7%減少し6104頭（45・7%）となりました。また、和牛ETについては14・5%増加し2060頭（15・4%）となりました。ホル種種付け割合が減少傾向の一方で、和牛ETの利用が増加傾向となっております。



**● 関東甲信越枝肉共励会開催**  
 令和5年2月3日から4日にかけて、酪肉経営技術研究会主催による関東甲信越乳用種経産肥育牛枝肉共励会が開催されました。当日は6農協より38頭の出品があり、当組合からも18頭と約半数を占める出品がありました。今回は枝肉重量450kgを超える肉感十分な出品牛がある一方で、最小230kgとばらつきが大きく、サシの入りも不十分なものが散見される等、昨今の飼料情勢の悪影響が色濃く見える共励会となりました。しかしながら、当組合より最優

秀賞（全体の1番目）優秀賞2席（同3番目）優良賞2席、3席（同5番目、6番目）を獲得し、優秀な成績を収めることができました。今後は近年利用が増えている粗米サイレージの給与が肉質に影響を及ぼすか等、新たな知見の獲得に向け、調査・研究を行い組合員の皆様へ還元できればと考えております。

最後になりましたが、受賞された皆様、大変おめでとうございます。

- 最優秀賞：小滝 浩さん
- 優秀賞2席：水沼 秀男さん
- 優良賞2席：海老原哲夫さん
- 優良賞3席：ウエルシーファームさん

### ●令和4年度青年部本部全体研修会開催

令和5年2月22日、栃木県農業共済組合塩谷支所にて、約30名の参加者のもと、令和4年度酪農とちぎ青年部本部全体研修会が開催されました。

昨今の厳しい酪農情勢もあり、経営と飼料について、日本政策金融公庫の黒図洋一氏、雪印種苗株式会社 松本啓一氏をお呼びし、



講演をして頂きました。

最初に黒図氏の講演が行われ、損益計算書の基礎的な話をして頂き、その後、細かく丁寧に資金繰りの話をして頂きました。また、投資に対する金融機関目線の審査の話など、今後、資金計画を立てる時の助けになったのではないかと思います。

次に松本氏の講演が行われ、飼料価格高騰の原因を解説して頂いた後、飼料コスト低減の対策などについて改善例をあげた話をしてくれました。とても分かりやすく興味深い内容が多く、今後の参考になったのではないかと思います。

質疑応答では、今後の飼料状況や飼料メニュー変更の際の影響など、多くの質問が飛び交い、盛況に開催することができました。

### ●令和4年度栃木県酪農ヘルパー研修会開催

令和5年3月3日、栃木県内のヘルパーが一堂に会し、宇都宮市内のホテルにて研修会を開催いたしました。当日は、県畜産振興課阿久津課長補佐並びに酪農ヘルパー全国協会岡本事務局長をお招きし、ヘルパー及び酪農協担当者総勢43名が参加し、研修と意見交換を行いました。

研修会を企画するにあたり、日々のヘルパー業務において、コミュニケーション不足を原因とする作業ミスやトラブル等が発生していることを踏まえ、

『仕事と人間関係に活かす「自己理解と他者理解」の土台となる自己肯定感研修』と題し、講師を、日本セルフエスティーム普及協会代表理事 工藤紀子氏にお願いをしました。

「自己肯定感」とは、自分の存在をありのまま認め、その自分を好意的、肯定的に受け止めること

ができる感覚のことです。この自己肯定感が低いと、他人に対して肯定的に受け止めることができず、良好な関係を築くことができません。まずは、自己肯定感を高めることで、相手の存在も認めることができるようになるということを学びました。

ヘルパー業務においても、利用者およびヘルパー同士が良好な関係の下、相互理解することが大切だと思いますので、研修で学んだことを日々の業務に活かしていきたいと思えます。

最後に、今後もヘルパー事業の継続発展のため県内関係者同士協力して事業推進してまいります。





酪農とちぎ

# 労働力・人材確保支援事業のご案内

組合の新たな取り組みとして、国内有数の農業専門求人サイトの「農業ジョブ」と提携し、組合員の労働力確保対策として求人広告サービスを組合員を対象に提供いたします。

このサービスを活用し、組合員の皆様がより一層、農業生産を充実させ、酪農経営が発展していくことを目指しています。

## ご利用費用

30,000円

利用期間

2023/11/30まで

12月更新

## ▼ご利用例

- アルバイト・パート募集
- 正社員の募集
- 研修生、インターン生の募集
- 後継者の募集

★活用方法は支所担当者へご相談ください

## 農業ジョブ 求人に応募



お申込み頂いた組合員の求人が「農業ジョブ」という農林水産業専門求人サイトに掲載されます。その後、組合員の牧場等で働きたいという方から応募がありますので面接の上、採用することができます。

## 【ご用意いただくもの】

- ① 求人票（フォーマット記入）
- ② 写真（デジタルカメラ・スマートフォンなどのデータ。ネガ不可）

※本サービスは組合員のみへの提供となっております。

求人広告サービスのため、必ず人材を採用できることを保証するものではありません。

（問い合わせ先） 業務部指導企画課

TEL: 028-660-2213

MAIL: shidou@rakunoutochigi.com

## 農業求人情報サイト

# 農業ジョブ

## とは？

agrijob.jp

農業ジョブは、農業、林業、漁業に特化した専門の就職支援情報サイトで、求人情報をはじめ、各業種ごとの仕事解説など、第一次産業分野での仕事を希望している方々へ向けての総合的な就職支援サービスを展開しています。

2006年のオープン以来この業界のマーケットをいち早く開拓しており、利用者は年々増加。現在は登録者数11万人を誇る業界最大のサイトとなりました。



## ◆利用者の方へ

本サービスは、酪農とちぎが国内有数の農業専門求人サイトの「農業ジョブ」の運営会社（株式会社 Life Lab）と提携し、一括で求人掲載契約を行うことで、費用を低く抑えています。利用を希望される組合員の方には、利用負担金として、3万円/年をご負担いただきます。また今後、利用者が増えれば、1利用者あたりの単価も下がります。

なお、求人広告掲載後の応募対応、採用面接、採用後の労務管理等は、すべて利用者自ら行っていただきます。





# 生乳受託課

令和5年2月度の組合生乳生産量は、1万9503t（前年比97・7%）となりました。各支所の受入乳量は、那須高原支所1万3778t（前年比100・4%）、宇都宮支所2081t（同89・8%）、県南支所3644t（同93・0%）となり、出荷者数は前年同月より21戸減の328戸（内、学校1）となりました。

2月度の組合平均乳質は、脂肪率4・07%（前年差+0・07%）、無脂固形分率8・90%（同▲0・05%）、体細胞数18・52万（同+0・95万）と脂肪を除き、前年同月を若干下回る結果となりました。

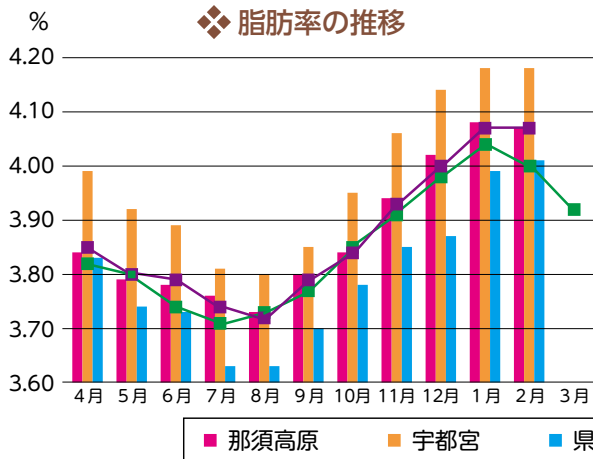
関東生乳販連の2月の総受託乳量は8万740t（前年比98・1%）となり、4ヶ月連続で前年を下回る状況です。用途別販売数量を見ると、学乳向けは昨年コロナの第6波による臨時休校の影響等があった関係で、1月に引き続き前年比114・2%と増加しましたが、飲用全体としては値上げ・インフレの影響による消費減退が続き前年比98・7%となったほか、はっ酵乳等向けが前年比93・3%

令和4年度 関東生乳販連用途別販売数量 (単位: kg・%)

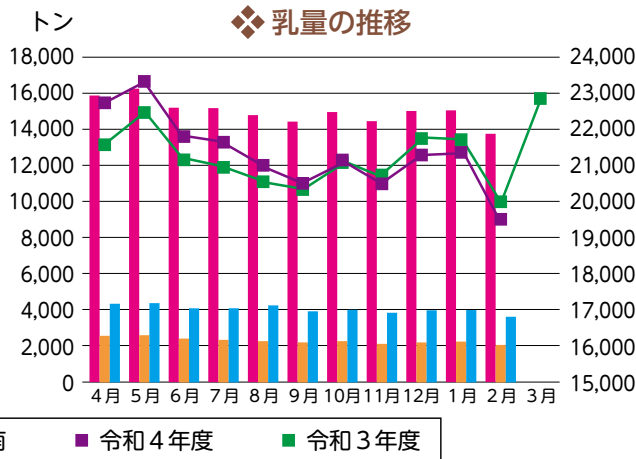
用途	2月期実績	前年同期実績	前年比	2月末実績(累計)	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	60,970,341	61,762,358	98.7	719,841,269	726,828,974	99.0
(うち学校を除く飲用)	49,688,592	51,886,827	95.8	612,842,283	620,935,390	98.7
(うち学校向け)	11,281,749	9,875,531	114.2	106,998,986	105,893,584	101.0
はっ酵乳向け	10,217,373	10,953,085	93.3	129,320,273	133,456,303	96.9
脱粉・バター等向け	8,538,101	8,468,008	100.8	95,137,418	83,939,336	113.3
生クリーム等向け	908,672	1,009,497	90.0	11,279,584	11,482,215	98.2
チーズ向け	105,749	80,056	132.1	1,294,144	1,043,761	124.0
総受託乳量	80,740,236	82,273,004	98.1	956,872,688	956,750,589	100.0
脱粉・バター等向け比率	10.57	10.29	-	9.94	8.77	-

と振るわなかったことにより、脱粉・バター等向けが100・8%と前年を若干上回りました。全国の生産量は94・9%と7ヶ月連続で前年を下回りました。内訳は北海道が93・7%、都府県が98・2%の前年比となっています。なお、令和5年2月度の生産量・乳質、及び関東生乳販連の用途別販売数量は別表の通りです。

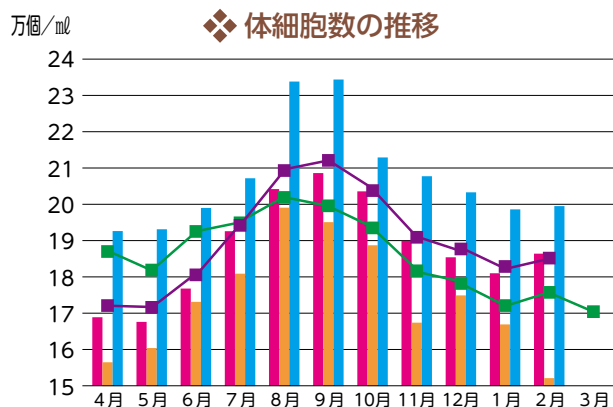
◆ 脂肪率の推移



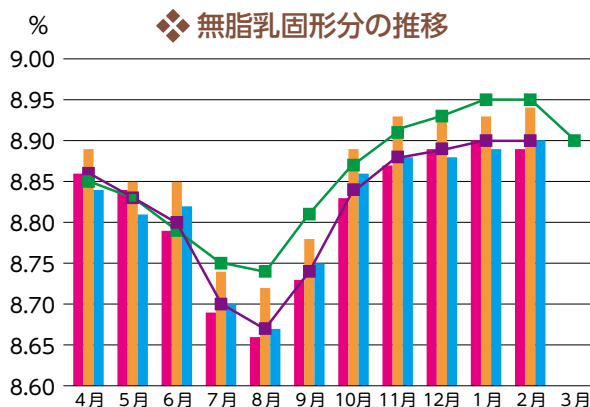
◆ 乳量の推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分の推移



# 名誉農業士認定者紹介

令和4年度農業士・名誉農業士認定式が1月10日栃木県公館で行われました。



滝沢悦郎さんご夫妻

本組合からは、長年にわたり農業の振興に尽力された滝沢悦郎氏（塩谷郡高根沢町）が名誉農業士の認定を受けました。心よりお祝い申し上げます。又、農業社会における農村地域発展の為に更なるご活躍をお祈り申し上げます。

## 理事会だより

### 12月度理事会（12月28日）

- 報告事項
  - (一) 業務経過報告について
  - (二) 組合資金貸付について
  - (三) 役員定数等検討協議会について

- (一) 組合員加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 特別管理未収金の報告について
- (六) 乳牛飼養動態調査結果について
- (七) 子会社の第3四半期事業実績について
- (八) 関東生乳販連情報について

### 1月度理事会（1月31日）

- 報告事項
  - (一) 組合員加入について
  - (二) 業務経過報告について
  - (三) 組合資金貸付について
  - (四) 組合プール乳価について
  - (五) 特別管理未収金の報告について
  - (六) 乳牛飼養動態調査結果について
  - (七) 子会社の第3四半期事業実績について
  - (八) 関東生乳販連情報について
- 協議事項
  - (一) 12月度及び第3四半期事業実績について
  - (二) 専従酪農ヘルパー就業規則の変更について
  - (三) 組合と理事との契約について

### 2月度理事会（2月28日）

- 報告事項
  - (一) 組合加入、脱退について
  - (二) 業務経過報告について
  - (三) 組合資金貸付について
  - (四) 組合プール乳価について
  - (五) 役員報酬等審議会発令について
  - (六) 関東生乳販連情報について
- 協議事項
  - (一) 1月度事業実績について
  - (二) 職員給与規程及び臨時職員等就業規則の改正について
  - (三) 固定資産の取得について

## お知らせ



### 職員人事

- 定年退職者（3月31日付）
  - 経済部長 菊地 好弘
  - 宇都宮支所長 相馬 達夫
- 退職者（3月31日付）
  - 宇都宮支所業務推進課 小林 萌子
  - 総務部総務課（嘱託） 仲山 時子
  - 那須高原CS（嘱託） 藤田 常美
  - 宇都宮検査室（パート） 塚田 康子
  - 宇都宮検査室（パート） 石塚 文子
- 新規採用者（4月1日付）
  - 業務部指導企画課 柳 晴輝
  - 那須高原支所業務推進課 益子 聖崇
  - 那須高原支所業務推進課 小林 祐哉
  - 宇都宮支所業務推進課 勝俣 みな
  - 那須高原CS（臨時） 月井 愛唯
  - 宇都宮検査室（臨時） 直井 雅代
  - 宇都宮検査室（臨時） 築瀬 友美
- 定期異動（4月1日付）
  - 別添「酪農とちぎ機構」のとおり

### 2月度 ホクレン初妊牛市場成績（単位：千円（税込））

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
十勝	2月2日	714	614	86.0%	526	146	125	711
釧路	2月8日	351	337	96.0%	486	54	54	602
根室	2月9日	510	491	96.3%	540	75	70	693
豊富	2月16日	319	306	95.9%	522	7	7	626
十勝	2月21日	616	607	98.5%	643	126	123	792
北見	2月22日	394	390	99.0%	641	30	30	786
合計		2,904	2,745	94.5%	560	438	409	702
前月		2,464	2,315	94.0%	499	356	320	647
前年同月		2,956	2,643	89.4%	621	353	313	839

3月の初妊牛動向といたしまして、先月の春分娩相場が飛躍的に上がったことから、更に強含みで推移する見込みです。育成牛、経産牛も同様に相場が押し上げられる予想です。資源については、特に、雌雄選別腹の資源不足が顕著になり、確保が難しくなっています。雌雄選別腹をご希望の方は特に余裕を持ったご注文をよろしくお願い申し上げます。

### 2月度 県内家畜市場成績（単位：円（税込））

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
那須	F1雄	73	73	66	243,100	14,300	101,441
	F1雌	72	71	64	245,300	3,300	66,790
	ホルス雄	51	51	66	70,400	220	32,603

今回の初生牛相場は前号に報告した11月の平均価格と比較しますと、全畜種で弱含みで推移しています。また、2/5から2/25までの平均価格を比較しますと、ホルス雄は横這いで推移していますが、F1牡・F1雌はやや強含みで推移しています。例年春先から夏に向けて上昇傾向を取ること多いですが、今後相場は横這いややや強含みで推移すると見込まれます。



# 第十六回「全農学生『酪農の夢』コンクール」

は  
せ  
が  
わ  
ご  
う  
き  
長谷川豪輝氏

(那須塩原市青木)

長谷川剛氏の後継者・栃木県農業大学校)

が最優秀賞を受賞



長谷川豪輝氏

このコンクールは、全国農業協同組合（JA全農）が主催し、次世代の酪農を担っていく学生の方々に、若いからこそその情熱や大きな夢を綴ってもらうことで、本人の将来への希望を膨らませてもらうと同時に、酪農の「未来」を築く人たちをつなぐ新たな機会となることを目的に開催される今回が十六回目となります。また、栃木県としては第四回の大会において

最優秀賞を受賞した菊地啓介さん（那須塩原市三島）に続き十二年ぶりの快挙であります。この受賞により、2月には栃木県知事を表敬訪問し知事から激励を受けました。また、3月には那須塩原市長特別表彰も受賞されました。誠にありがとうございます。

優秀賞を受賞できると思っていなかったのですが、とても驚きました。現在の酪農は非常に厳しい状況となっておりますが、私が目指す『牛に優しく、人が楽しい』酪農を実現できるように頑張っていけます。」と述べられました。今春から自宅就農しながら、当組合の臨時ヘルパーとして就業予定となっております。今後益々のご活躍が期待されます。

作品は家族への思いや酪農への熱意が綴られた内容です。是非ご覧下さい。

## 「目指すは『楽農』経営」

栃木県農業大学校

農業生産学部畜産学科

2年 長谷川豪輝

まだまだ残暑厳しい9月の夕暮れ、北に向かって車を走らせる。農場管理当番の帰り道、窓を開けると吹き込む風が気持ちいい。学校から自宅まで約1時間半のドライブ、僕はこの時間がとても好きだ。

僕の家は、栃木県那須塩原市の酪農家だ。搾乳牛50頭を飼養し、両親が経営している。僕は幼いころから両親に付いて牛舎に入り、親が仕事をしている間、牛舎で遊んでいたものだ。そのうちに牛へのエサやりをするようになって

り、小学生の頃には父と一緒にトラクターに乗って牛の管理を手伝うようになった。牛はかわいいし、機械に乗るのが楽しくて、小学6年生になると将来は酪農を継ごうと思うようになった。中学生になると、僕は飼料作物の栽培・収穫も手伝った。家を継ぐことに迷いはなかった。そこで、僕は畜産の知識を学ぶため、地元の農業高校への進学を希望した。

しかし、僕の希望は叶わなかった。第1志望の農業高校の選考から漏れ、僕は第2志望の高校に入学した。今思うと、この頃の僕は人生で初めての挫折を味わい、心折れていたのだろう。家の手伝いは続けていたものの、畜産の知

識などどうでもよくなり、友人と遊び惚けるようになっていた。いわゆる「グレル」というやつだ。そして、とうとう高校2年の1月、僕は退学した。こんな好き勝手やってた僕だったが、父は責めなかった。僕は家の酪農を手伝いながら就職先を探し、やがて土木建築関係の会社に就職した。いやいやながら通っていた高校に比べると、ものを作る会社は意外と楽しく、僕はコンクリートの基礎の打ち方やアスファルトの扱い方などを習得した。我が家では、簡単な牛舎の修理は祖父がやっていたので、僕が会社で学んだ建築技術は牛舎の修理に大いに役だった。僕は搾

乳の他に牛舎の修理も手伝う

うちに、施設の作業効率や牛舎環境を考えるようになり、きちんと畜産の勉強をしたいと思う気持ちが強くなった。

同級生たちが高校を卒業した頃、僕は友人から「高等学校卒業程度認定試験」のことを教えられた。この試験に合格すれば大学を受験することができる。僕は畜産を学びたい一心から、認定試験を受けることにした。何とか認定試験に合格することができた。僕はその後、大学に合格。同級生から1年遅れて栃木県農業大学校の学生になった。

農業大学校では、牛舎や牛は学生主体で管理することになっており、実習の時間が充実している。朝は5時30分から7時30分まで農場管理実

習、9時から16時20分までが講義や専攻実習。農場管理実習は1年生2名、2年生2名の当番制で、専攻実習は平日の午後週3回あり全員参加となっている。乳牛と和牛（黒毛和種）を飼養しており、主にこの実習の時間に牛の飼養管理を行っている。



夏休みは当番制で飼養管理にあたっている。僕は今、乳牛の暑熱ストレス低減に関する卒業論文に取り組んでおり、得意とする工作で牛舎に散水装置を設置した。午後2時から4時にかけて牛舎の通路や搾乳待機所に細霧状に散水、パーラーでは牛の首筋に散水し、散水前後の体温と産乳成績を調査している。少しでも牛が暑さを凌げる環境を作りたいと考えている。

僕は農業大学校で初めて「スマート農業」を体験した。牛舎には発情発見装置や分娩監視システムが導入されており、目視ではわからない発情を検知して種付けしたり、分娩時に通報が来たりと、少ない労力で効率的に牛を管理で

きるようになってきている。特に分娩が近づくと、農家では昼も夜も緊張した日々を送っているが、大学校では分娩監視システムのおかげで分娩前でも牛舎に宿直する必要がない。システムが牛の体温を測定して、体温が下がれば分娩間近の情報を、破水して分娩が始まれば駆けつけ通報を携帯電話に送ってくれる。僕たちは、この駆けつけ通報を受けて牛舎に集合する。家が近い学生は20分で牛舎に到着できる。難産の場合は分娩まで2時間かかるので、家の遠い僕でも十分に間に合う。こうして、僕たちは分娩には必ず立ち合い、難産の時は介助するので、分娩で母牛を死なせることはない。また、

分娩監視システムには監視カメラも付いており、どこにいてもパソコンや携帯電話で分娩の進捗状況を見ることができるので便利である。僕たちは牛舎に到着すると、牛を緊張させないよう牛には近づかず、休憩室のパソコンで分娩を見守る。大学校は安産の牛が多いので、子牛が生まれたことを確認してから産後の処置を開始している。これらのシステムは、飼養管理にかかる労力を軽減できるので、我が家でも導入したいと考えている。

また、大学校1年生の秋には酪農ヘルパーのインターンシップに参加し、5日間いろいろな酪農家で酪農ヘルパーを経験させてもらった。農家

ごとに施設や管理方法に特徴があつて、とても勉強になつた。大学の授業でも、校外学習として優れた経営をしている農家を見学に行った。搾乳ロボット、哺乳ロボット、餌寄せロボット、牛の行動監視システムなどを導入している農家、昔の牛舎をパーラーに改造し施設にお金をかけない工夫をしている農家、ふん尿処理や自給飼料の生産・利用に力を入れている農家等、一つ一つの経営に特徴があつた。僕は、大学校で牛の飼養管理や家畜衛生、飼料作物、農業簿記などの講義を受けた

り、いろいろな農家を見学したりして学ぶ中で、ある程度の知識や技術を習得したが、一方では現実も見えてきて、

これからの酪農経営に不安も覚えている。

僕が目指す酪農は「牛に優しく、人が楽しい」酪農で、牛にはストレスの少ない環境を整え、働く人には余暇を楽しみ余裕のある経営を理想としている。今の牛舎は自作のフリーバーンだが、狭くて作業もやりにくい。自宅の隣には離職した酪農家があるので、その施設を借り受けて飼養スペースを拡大、ゆつたりとした環境を牛に提供してあげたい。細霧システムなど暑熱対策もしたい。祖父は牛舎修理が得意なので、僕の建築会社での経験と力を合わせれば、牛舎を自作することも可能である。また、搾乳ロボット、行動監視や分娩監視シス

テムを導入して労働時間を軽減し、趣味を楽しむ時間を作りたい。酪農ヘルパーなどを利用して休みも設けたい。夢はあるのだが、最近は不安が大きくなっている。穀物の国際情勢を受けて飼料価格は高値が続いており、ロシアのウクライナ侵攻以降は飼料や肥料をはじめとするすべての農業資材が高騰した。生乳生産コストの大幅な上昇を受けて、生産者乳価が10円引き上げられたが、採算は合わず、酪農経営は非常に厳しくなっている。とても不安である。

しかし、僕の住む那須塩原市は生乳生産量本州1位を誇る地域。地域の酪農家と協力してこの

局面を乗り越え、理想の楽しい酪農経営（「楽農」）を実現したいと思う。僕は車が趣味で、ドライブが大好きだ。少し古いスポーツカーをおしゃれに乗り回し、仕事が休みの日には遠出したい。僕がグレたときも見守ってくれた尊敬する父と一緒に。

